

平成 19 年 8 月 2 日
電源開発株式会社

米国グリーン・カントリー発電所の権益取得について

～J パワー 米国で 3 件目の IPP 事業～

J パワー（電源開発株式会社、社長：^{なかがきよしひこ}中垣喜彦）は、米国ジョン・ハンコック生命保険会社（John Hancock Life Insurance Company、以下「ハンコック社」）との合弁会社を通じて、米国オクラホマ州ジェンクス市にあるグリーン・カントリー発電所（Green Country Energy：出力約 80 万 kW ガスコンバインドサイクル）を所有・運営するグリーン・カントリー・ホールディング社（Green Country Holding LLC、以下「GCH 社」）の権益の 100%を取得することとしました。

このたび、J パワーとハンコック社が各々 50%の権益を持つ合弁会社 J-POWER USA Generation, L.P.（以下「USA ジェネレーション社」）は、GCH 社の権益を持つ GE エナジー・フィナンシャル・サービス社（90%出資、以下「GE EFS 社」）およびティア・キャピタル社（10%出資、以下「ティア社」）と権益の譲渡について合意しました。今後、米国での許認可手続きを経て、今年 9 月頃には権益を取得できる見込みです。

J パワーは、本件が（1）売電契約により一定期間安定的な収益が見込めること、（2）同発電所が安定的に運転されていること、（3）J パワーが発電所の事業会社であるグリーン・カントリー・エナジー社の経営を主導する経験が今後の米国 IPP 事業展開に資すること、等から本件へ参画することとしました。なお、発電所の運転・保守業務は、引き続きノース・アメリカン・エナジー・サービス社が実施することとしています。



今回の権益取得は、今年 5 月に設立した USA ジェネレーション社として初めての新規投資となります。また、本件により J パワーが出資する海外 IPP 事業は、運転中 5 カ国・地域 16 件、建設中 2 件となります。

以 上

<米国での事業展開>	平成 17 年 1 月	米国での IPP 事業推進のため現地法人を設立
	平成 18 年 5 月	テナスカ・フロンティア発電所の一部権益取得(J パワー初の米国 IPP)
	平成 19 年 1 月	エルウッド発電所の一部権益取得 (2 件目)
	平成 19 年 5 月	ハンコック社と USA ジェネレーション社を設立

<添付資料>

1. グリーン・カントリー発電所の概要
2. J パワーの海外 IPP プロジェクト一覧